

# 現役最年長競輪選手 佐々木浩三選手 ラストランについて

現役最年長の競輪選手で、日本競輪選手会 佐賀支部所属の佐々木 浩三（ささき こうぞう）選手（63歳）が、12月26日（金）～28日（日）に開催されるたけお競輪 モーニング競輪への出場を最後に、現役を引退されます。

**また、28日（日）の最終レース終了後、バンク内にて、佐々木選手の引退の挨拶が行われます。**

昭和57年（1982年）のデビュー以来、43年にわたり現役を駆け抜けられた佐々木選手の最後の雄姿を、是非とも取材いただきたいと思います。

## ＜開催の概要＞

- ・開催名：モーニング競輪 おトクにPLAY! オッズパーク杯（FⅡ）
- ・日程：令和7年12月26日（金）～28日（日）
- ・開催時間：26日（金）：第1レース 8:50 発走 ⇒ 第7レース 10:50 発走  
27日（土）：第1レース 9:00 発走 ⇒ 第7レース 11:00 発走  
28日（日）：第1レース 9:00 発走 ⇒ 第7レース 11:00 発走  
28日（日）がラストランの日となります。

## ※時間に関する注意事項

佐々木選手の実際の発走予定の時間は、各日の前日の14:00頃に公開されます。

取材の際には、競輪公式ホームページ「KEIRIN.JP」や、担当者にお問い合わせください。

## ※追記

### ☆佐々木浩三選手 引退のご挨拶（簡易セレモニー）の実施について

- ・12月28日（日）の11時20分頃から、  
競輪場バンク内にて、佐々木浩三選手がファンのみなさまへ引退の御挨拶を行い、  
感謝の気持ちを込めて、記念品の投入を行います。
- ・このセレモニーの様子の取材については、書面での許可申請は不要でございますが、お越し  
いただく場合には、下記記載の担当（森）宛ご連絡ください。

**※落車等その他事由で佐々木選手が欠場された場合は、中止となります。**

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市営業部競輪事業所 事業係：森・平山・東島 TEL 0954-23-2701

## [佐々木浩三選手 紹介など]

1962 年 5 月 23 日、両親ともに競輪選手である佐々木家の三男として生まれた。

龍谷高校在学中、1980 年栃木国体 10000mポイントレースで準優勝。

1981 年、日本競輪学校に入学、50 期生となる。

1982 年 11 月 6 日、久留米競輪場で初出走、同日初勝利。

同月 30 日、防府競輪場でデビュー初優勝

長兄 和徳(かづのり)、次兄 昭彦(あきひこ)、甥 翔一(しょういち：長兄の子) も競輪選手という、まさに競輪一家。

師匠は次兄である佐々木昭彦。

特別競輪優出歴：S63. 6. 2 高松宮記念杯競輪（大津びわこ：8 着）、S63. 7. 29 全日本選抜競輪（青森：9 着）

GⅢ優勝歴：弥彦競輪 39 周年後節（S63. 7. 5）、甲子園競輪 38 周年後節（S62. 5. 19）、佐世保競輪 40 周年後節（H2. 12. 18）